

1 単元名 球技 (ネット型 : バレーボール)

2 単元の目標 (第1学年及び第2学年の第2学年分) * () は第1学年で取り上げる内容

- (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (技能)
- ・ ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開すること。
- (2) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアプレイなどを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、(健康・安全に気を配ることができる) ようにする。 (態度)
- (3) 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、(関連して高まる体力)などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 (知識、思考・判断)

3 運動の一般的特性

ネットをはさんで相対する2チームが、パス、サーブ、レシーブ、トス、スパイクといった技能を用いて攻防を展開し、得点を競い合う集団的スポーツである。攻防の仕方を工夫し、相手チームと勝敗を競うところに楽しさがある。

チームワークの高まりによっては普段以上の力を発揮し、大きな喜びや楽しさを味わうことができ、集団の望ましい人間関係を育成することのできるスポーツである。

9人制バレーボールやソフトバレーボール等、学校体育以外の場面でも仲間づくり、健康づくりの一環として広く社会で親しまれているスポーツである。

4 生徒の実態

(1) 運動に触れる楽しさの体験状況

本学年の生徒は昨年度、体づくり運動、器械運動、水泳、陸上競技、ダンス、球技(ゴール型、ベースボール型)、武道を学習した。ネット型の種目は、今回の授業が初めての経験となる。部活動の加入状況は2年生28名中、運動部の生徒は15名、学校外でスポーツをしている生徒は3名であり、そのうちバレーボール部の生徒は女子5名である。事前にとったアンケートから、バレーボールを「好き」と答えた生徒は70%で、協力してボールをつなぐことや点が入った時のうれしさなどから好意的な印象を抱いている。逆に「嫌い」と答えた生徒は30%であったが、狙ったところにボールが運ばないやルールが分からないからという理由が多かった。

(2) 「態度」、「思考・判断」に関する学習体験状況

「態度」においては、どの単元においても積極的な活動を行うこと、ルールを守りフェアな活動を行うこと、自分の役割を果たすことなどが大切であることを、常に意識させるようにしてきた。しかし、相手のことを考えない言動がある生徒も数名見られることもあり、その都度指導を行っている現状である。

「思考・判断」においては、自己やチームの課題を見つけることと、学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめることを指導してきた。自己やチームの課題については、学習カードを記入させることで自己の課題については分析する力がついてきているが、それをどのように改善していけば良いかということまでには至っていない。安全上の留意点については、事故や怪我の防止に関連して、単元の初めにオリエンテーションで扱っている。用具や場の安全については、ひとり一人の意識が高まっていない状況である。

(3) 「技能」の習得状況

本学級の生徒全員が、小学校での体育の授業や遊びの中で、バレーボールを経験しているが、技能の習得状況については個人によって差はあるものの、高くはない。バレーボール部に所属している生徒が5名在籍しており、この生徒は高い技術を有している。

(4) 体力の状況

本年度の体力テストの状況は、男子は反復横とびや立ち幅とびがTスコア50を若干下回るものの、それ以外は平均かそれ以上の成績で、特に筋力が大変優れている。敏捷性がやや不足している状況である。一方女子は、全ての項目でTスコア50を上回っており、非常にすぐれた体力を示している。なかでも、筋力や筋持久力が大変優れている状況である。

5 学習を進めるにあたって

本学級の生徒は、第2学年A組の男子12名、女子16名の生徒である。女子バレーボール部5名以外の生徒は、小学校の体育の授業や遊びの中で経験した程度で、ほとんどバレーボールの経験はないが、体を動かすことが好きな生徒が多く、運動に対する興味・関心は高い。バレーボールは男女共修でも楽しめるスポーツであり、男女一緒にチームが力を合わせ、ボールをつなぐバレーボールの楽しさに触れさせたい。また、ボールをつなぐために必要になる技能や動きも理解させた上で、確実に身に付けさせたい。そこで、次のような点に留意して授業を展開していきたい。

まず、第1時間目では機械的に振り分けたチームで、通常のルールの下にゲームを行わせる。当然のことながら、ラリーも続かずに、バレーボールの楽しさを味わうことができないことが予想される。そこで、バレーボールの楽しさを味わうためにはどうすればよいのか課題を持たせ、その課題を解決させるためにはどのような方法があるのかを分けて考えていくことを伝える。

ねらい1では、それぞれの技能について指導し技能の向上につなげるとともに、女子バレー部の生徒をリトルティーチャー的に活動させ、生徒同士で学び合う場面も作っていききたい。また、各グループで「個人技能の向上」「集団技能の向上」「ゲームを楽しむためのルールの工夫」についてどのような方法があるのかを、実践を交えながら考えさせていきたい。既存の練習方法や、ルールの移り変わりなどをヒントにして、生徒のひらめきや考えも拾い上げながら、自分たちに合った練習方法やルールを選ばせた上で工夫し、各チームの現状に合わせた練習を行い、個人や集団の技能を高めていきたい。毎時間行うゲームについては、技能の高まりに応じて、ルールも柔軟に変更していきたい。

ねらい2では、前時までの活動で高まった技能を生かして、バレーボールのゲームを楽しませたい。振り返

りを行う際に、最初の時間よりも、個人・集団の技能が高まっていることを実感させたい。

6 単元の評価規準（・第1学年 ○第2学年 ◎第1・2学年）

	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
単 元 の 評 価 規 準	<p>◎球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>○フェアプレイを守ろうとしている。</p> <p>◎分担した役割を果たそうとしている。</p> <p>○作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</p> <p>○仲間の学習を援助しようとしている。</p> <p>・健康、安全に留意しようとしている。</p>	<p>○ボール操作やボールを持たない時の動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。</p> <p>○自己やチームの課題を見付けている。</p> <p>○提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。</p> <p>・学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめている。</p>	<p>○空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができてい</p> <p>る。</p>	<p>○球技の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>◎技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>・球技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>○試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</p>
学 習 活 動 に 即 した 評 価 規 準	<p>①バレーボールの学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>②練習や試合の際、相手を尊重し、相手のことを考えた行動しようとしている。</p> <p>③分担した役割を果たそうとしている。</p> <p>④チームの話し合いに積極的に参加しようとしている。</p> <p>⑤練習の際、球出しなどの補助をしたり、仲間に助言したりし</p>	<p>①運動の行い方のポイントを見付けている。</p> <p>②練習やゲームを通して自己やチームに適した課題を見付けている。</p> <p>③自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p>	<p>①パスやサービスなど基本的な個人技能を身に付けている。</p> <p>②ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。</p> <p>③相手側のコートの開いた場所にボールを返すことができる。</p> <p>④プレイを開始する時は、ポジションごとのそれぞれの定位置に戻るることができる。</p>	<p>①バレーボールの特性や学び方、基本的技能を高めるための効果的な練習方法について具体例を挙げている。</p> <p>②技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>③試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</p>

	ようとしている。			
--	----------	--	--	--

8 本時の学習（9／12時間）

(1) 本時の目標

- 自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶことができるようにする。（思考・判断③）

(2) 本時の評価項目

- 自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。（思考・判断③）

9 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	○：評価項目 (評価方法) 【Aの例】	「努力を要する」状況と判断される生徒への手立て
はじめ 10	1 用具の準備 2 挨拶、健康観察 3 準備運動をする。 4 スキルチェック ・ アンダーハンドサークルパス ・ オーバーハンドサークルパス ・ オーバーハンド距離 5 本時のねらいを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きく行う。 ・ 約束通りに、丁寧に 行うようにする。 ・ 目標を達成できるように意識する。 		
	○ 課題に応じた練習方法を選ぼう。			
なか 35	6 前時の練習を振り返る。 7 自チームの課題の応じた練習を行う。 ・ スキルアップテキストを活用する。 8 ゲームを行う。 ・ A班 vs C班 ・ B班 vs D班	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような練習をどのような目的で行ったか確認する。 ・ 適切な練習方法か確認ができるようにする。 ・ 練習の成果が出せるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。（思考・判断） 【Aの例】 適切な内容を選んでいる。	課題が何かを再確認させ、それに合う練習方法が何かを考えるように助言する。
まとめ 5	9 本時を振り返る。 10 整理運動、片付けをする。 11 挨拶、健康観察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 練習が効果的であったか確認させる。 		